

土砂災害の歴史から学ぶ六甲山の防災事業

～六甲山自然案内人の会 出前講座～

六甲山で活動する市民団体「六甲山自然案内人の会」が主催する【六甲山の自然観察入門講座】を受講された方々に、六甲砂防事務所で開催している砂防事業や、六甲山地で発生した土砂災害の歴史、その対策について講義を行いました。

また、土石流の模型を使った実験では、砂防堰堤がある場合と、ない場合の比較を行い、土石流が発生した際の砂防堰堤の効果を視覚的に体験していただきました。

概要

日時：令和8年8月22日（土）13:00～15:00

場所：六甲山ビジターセンター

参加者数：約50名

実施内容：六甲砂防事務所事業概要（講義）、昭和42年災害を振り返る（映像）
六甲山地の砂防堰堤（映像）、過去に発生した土砂災害（映像）
土石流模型実験（実演）

～質疑応答（一部抜粋）～

Q：点検や調査は何名で行うのでしょうか？

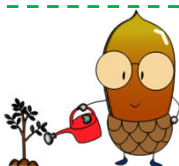
A：点検は3名を基本に行います。調査については、地質調査や状況によって3名以上となることもあります。測量や山の状況確認のためドローンを使用することもあります。

Q：六甲山が「瀬戸内海国立公園」に指定されていると知りましたが、人工物を造ることに対し、自然との折り合いはどのように考えていますか？

A：堰堤を造る目的は、人家や街への被害を抑えるためのものです。国立公園だからと言って、人工物を造らず、自然環境を変えずに、土砂災害を防ぐことは難しいです。そのため、環境に配慮した砂防堰堤やグリーンベルト整備事業を行い、自然を生かしながら事業を進めています。

六甲山の自然案内人の会は、多くの人々に、六甲山地の素晴らしさ、自然の多様性・不思議さ、自然保護・環境保全の方法を伝えるため、自然観察入門講座や自然観察ガイドなど、様々な活動を行っている市民団体です。

六甲砂防事務所のHPでは、事業の詳細や過去の災害に関する記録等を掲載しています。詳しくは右のQRコードよりHPをご覧ください。



土石流の模型を使った実験



六甲砂防事務所
事業概要説明



土石流模型装置

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

